

新たな佐賀県立高等学校入学者選抜制度

- 対象 : 令和7年度現在の中学1年生
(令和10年度佐賀県立高等学校入学者選抜から開始予定)
- 日程 : 前期検査－追検査－後期検査を実施
- 前期 : 2月上旬実施
✓募集定員の80%～100%(学校設定)
✓3つの選抜方式
・方式①…学力検査5教科による選抜
・方式②…学力検査3教科(国数英)
+作文や口頭試問やプレゼン等による自己表現
・方式③…学力検査3教科(国数英)
+実技(スポーツ、文化芸術)
※方式①、②、③の採用については、学校裁量
(①を含む複数の方式を採用)
※学校が採用した方式から受検生が選択
- 追検査 : 2月中旬実施
✓前期で出願した方式で受検
- 後期 : 2月下旬～3月中旬
✓前期で定員に満たなかった人数を加えて後期の募集人員とする。ただし、前期ですべての募集定員を満たした高校、学科は後期での選抜を行わない。
✓検査内容は、作文、面接、調査書等
- 再募集 : 実施しない
- 調査書 : 様式を変更(「出欠の記録」「行動の記録」欄の削除等)、A4 片面

新たな佐賀県立高等学校入学者選抜制度【令和10年度入学者選抜から開始予定（令和7年度中学1年生が対象）】

<見直しの視点>

✓シンプルな制度

✓スクール・ポリシーの反映

✓多様な評価

✓実施時期

✓安心して受検できる制度

前期（仮称）

【実施時期】2月上旬

【募集人員】募集定員の80%以上
（学校の裁量で100%も可）

【受検方式】

- 方式①【学力検査5教科方式】
学力検査5教科、調査書、面接
- 方式②【指定教科+学びのデザイン方式】
学力検査3教科（国数英）、作文などの自己表現、調査書、面接から各高校が項目を決定
- 方式③【指定教科+実技検査方式（スポーツ型・文化芸術型）】
学力検査3教科（国数英）、実技検査、実績評価表、調査書、面接から各高校が項目を決定

※方式①、②、③の採用については、学校裁量（①を含む複数の方式を採用）

※学校が採用した方式から受検生が選択

追検査

【実施時期】2月中旬

【受検対象】

本人の責に帰さないやむを得ない事情により受検ができなかった者

【受検方式】

前期で選択した方式で受検する。

後期（仮称）

【実施時期】2月下旬～3月中旬

【募集人員】

募集定員から前期の募集人員を除いた人数とする。

ただし、前期で募集人員を満たさなかった場合は、当該欠員となった人数を上乗せし、後期の募集人員とする。（定員内不合格を除く）

【検査内容】

作文、面接、調査書等

新たな佐賀県立高等学校入学者選抜制度について

1. これまでの検討経緯

令和7年3月に「新たな佐賀県立高等学校入学者選抜実施方針素案」を公表して以来、6月までに3回、昨年度から通算6回の懇話会を開催し、有識者、PTA 関係、小中学校の学校関係者等多くの方にご意見をいただいた。その後、教育委員会事務局で検討を重ねた後、その実現性について複数の高等学校にヒアリングを行い、シミュレーションを行ってもらった。それらを経て、新しい入学者選抜制度の概要をまとめた。

2. 県立高等学校入学者選抜制度の見直しの目的及び背景

令和7年3月に公表した「新たな佐賀県立高等学校入学者選抜実施方針素案」に示しているとおり、自分で自分のことを決められる子どもを育てたいという佐賀県教育大綱の精神に則り、「育成すべき資質・能力の三つの柱」に基づいて学力を評価し、生徒の学ぶ意欲と高等学校のスクール・ポリシーとの適合が最大限はかれるような入学者選抜制度を目指すこととした。

3. 県立高等学校入学者選抜制度の見直しの方向性

- わかりやすい選抜方式にする。
- 受検生の能力や意欲を多面的に評価する。
- 中学校で身につけた学力を、「育成すべき資質・能力の三つの柱」（知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力）に基づいて評価する。
- 受検生が安心して受検できるようにする。
- 受検生や中学校・高校にとってより適切な実施時期を検討する。
- 中学校・高校における入学者選抜関連業務の簡素化・省力化を目指す。

令和 7 年 3 月 26 日
佐賀県教育委員会

新たな佐賀県立高等学校入学者選抜実施方針素案

1 新たな佐賀県立高等学校入学者選抜の実施時期

令和 10 年度入学者選抜（令和 7 年度の中学 1 年生が対象）

2 新たな佐賀県立高等学校入学者選抜の方向性

- **分かりやすい選抜方式にします。**
 - ・ 一般選抜選考Ⅰ・選考Ⅱを廃止し、特色型選抜（選考）及び一般選抜（選考）の 2 つの型の選抜を実施
- **受検生の能力や意欲を多面的に評価します。**
 - ・ 多様な評価を行う機会の設定
（スポーツや文化・芸術等の実績、特定教科の重点評価、スクール・ポリシーとのマッチング等）
 - ・ 各教科の学力検査に加え、面接・自己表現・作文・実技検査・学校独自問題等の検査を組み合わせた評価
- **中学校で身に付けた学力を、「育成すべき資質・能力の三つの柱」に基づいて評価します。**
 - ・ 各教科の学力検査や実技検査による、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」の評価
 - ・ 面接・自己表現・作文等による、「学びに向かう力」の評価
- **受検生が安心して受検できるようにします。**
 - ・ 重点評価枠（不登校経験や発達障害のある生徒等の募集枠）の継続
 - ・ 配慮が必要な受検生を対象とした特例措置・特別枠の充実
 - ・ 本人に帰責しない事情により受検ができない受検生への追検査の実施
 - ・ 再募集の実施
- **受検生や中学校・高校にとってより適切な実施時期を検討します。**
 - ・ 高校を取りまく環境の変化等に対応した入学者選抜の実施時期について検討
- **中学校・高校における入学者選抜関連業務の簡素化・省力化を目指します。**
 - ・ 調査書の簡素化
 - ・ Web 出願の検討

高校入試改革に係る年度内スケジュール案

10月

11月

12月

1月

2月

3月

定例教育委員会勉強会

定例教育委員会付議
プレスリリースと同時に
新入試に関する質問受付開始

質問受付期間

チラシ作成
内容：新入試に関する説明
受検の流れについて
のフロー図
Q & A 等

チラシ発送

必要に応じて関係各所への説明